



2015 DIJON Racing SUPER GT RACE REPORT

FUJI GT 300KM RACE

開催日時 : 2015 年 8 月 8 日～9 日
 開催地 : 富士スピードウェイ (静岡県)
 ドライバー : 湯澤翔平 / 柴田優作
 マシン名 : DIJON Racing GT-R (日産 GT-R GT3/MY2014)
 参戦クラス : 2015 年 SUPER GT SERIES / GT300 クラス

天候 : 予選 / 晴れ
 決勝 / 晴れ
 路面 : 予選 / ドライ
 決勝 / ドライ
 入場者数 : 予選 / 20,400 人
 決勝 / 36,400 人

練習走行 : クラス 27 位 (1 分 41 秒 380)
 予選 Q1 : クラス 24 位 (1 分 40 秒 028)
 予選 Q2 : ---
 フリー走行 : クラス 18 位 (1 分 41 秒 001)
 決勝 : クラス 19 位 (56 周)

DIJON
Racing

MTSUNAGA
 GROUP

in@iki

Cure★
Album Planet
ENDLESS

NILZZ
 Racing Factory

POWER STATION

PINS
 FACTORY

RAVS

KTEL

IBRIDA CELL

YOKOHAMA

中津からあげ
 将軍家もり山

ENOMOTO
 ARCHITECTS

TRUST

CKK

NISSAN nismo
 NISSAN GT-R NISMO GT3
 Customer Racing

H Dental office

OKUSU
 VACATION RENTALS

ReBORN
 経堂
 KICKBOXING & FITNESS

アルティミ
 トラベル メイク

bralman co.,ltd

MURAKAMI
 MENTAL CLINIC

海八生電設工業



SUPER GT シリーズも折り返しを迎えたシリーズ第 4 戦『FUJI GT 300KM RACE』が静岡県富士スピードウェイで開催。DIJON Racing は二台の NISMO GT-R GT3 をエントリーした。

今季初参戦となる DIJON Racing 47 号車は、昨年まで F3 N クラスに参戦していた湯澤翔平と、全日本ジムカーナ 6 年連続チャンピオンである柴田優作のルーキードライバーコンビで参戦となる。

8 月 8 日 (土曜日) 公式練習

朝から青空の広がった富士スピードウェイ。朝から強い日差しが照りつけ、気温も 37℃ を超えた。8 時 50 分から行われた公式練習は柴田優作を中心にドライブ。今季初参戦ということもあって、各部の入念なチェックを主に走行を重ね、予選に向けて順調にマシンを仕上げていった。

8 月 8 日 (土曜日) 予選 Q1

午後に行われた公式予選 Q1 セッション。上空には雲がかかり気温 28 度、路面温度 35 度と過ごしやすいコンディションとなる。予選 Q1 開始と共に柴田優作がコースイン。しかし、直ぐに他車のトラブルに赤旗が提示される。5 分後に予選 Q1 が仕切り直しとなり、柴田優作はコースインしてアタックを再開。

徐々にタイムを縮めて計測 5 周目に 1 分 41 秒 432 をマークし GT300 クラス 10 位につけ、翌周には 1 分 40 秒 028 までタイムを短縮するも、ライバル勢のタイムアップもあって、この予選 Q1 セッションは GT300 クラス 24 位となり、Q2 セッション進出は果たすことはできなかった。

DIJON
Racing

MITSUNAGA
GROUP

inioiki

Cure★
Album Planet
ENDLESS

NILZZ
Racing Factory

POWER STATION

PINS
FACTORY

RAVS

KTEL

IBRIDA CELL

YOKOHAMA

中津からあげ
将軍家もり山

ENOMOTO
ARCHITECTS

TRUST

CKK

NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

H Dental Office

OKUSU
VACATION RENTALS

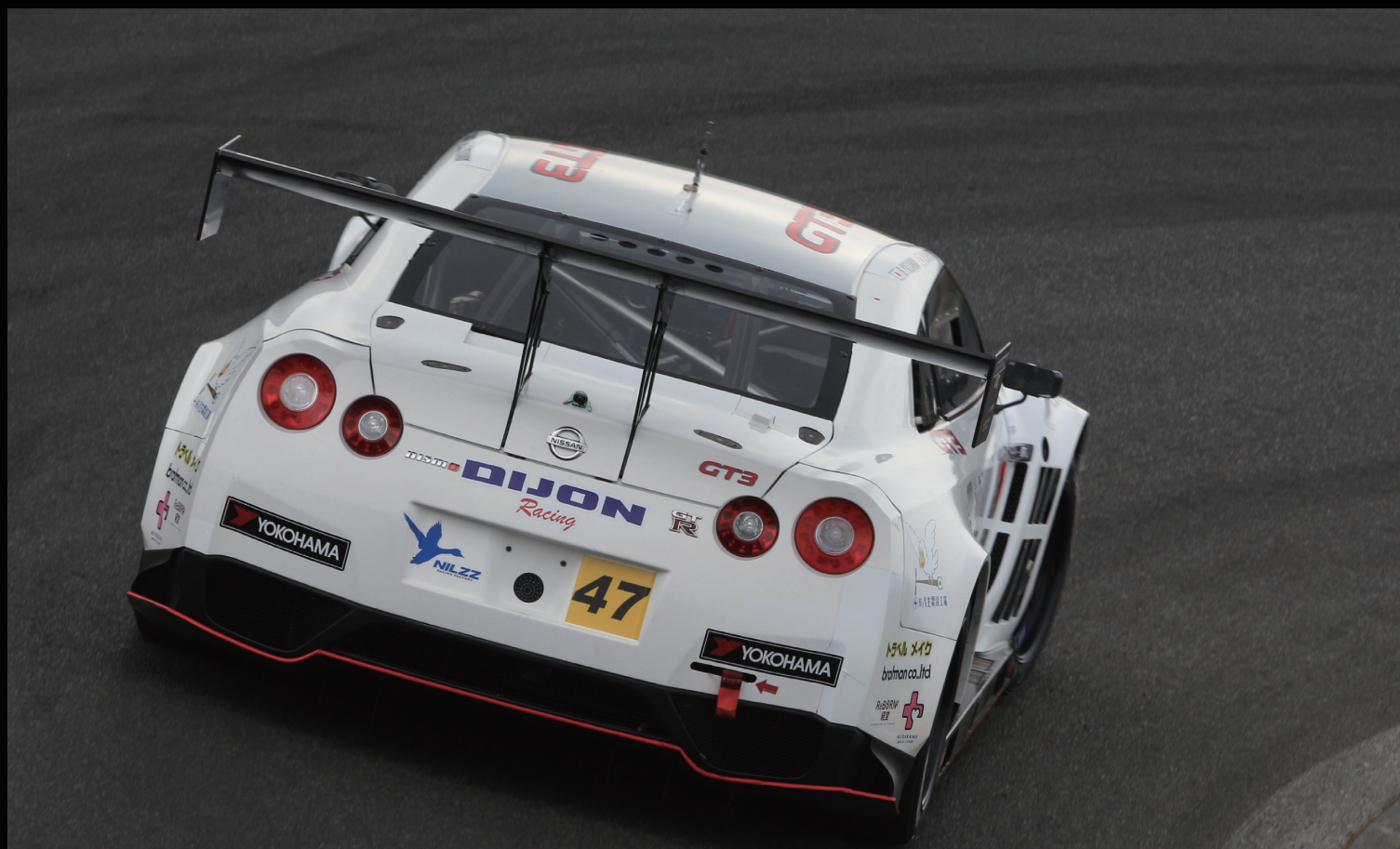
ReBORN
経堂
KICKBOXING & FITNESS

アライズ
トラベル メイク

bralman co.,ltd

MURAKAMI
MENTAL CLINIC

海八生電設工業



8月9日(日曜日)フリー走行

いよいよ迎えた決勝日。9時35分よりフリー走行が行われた。このフリー走行ではマシンの決勝セットアップの確認が主な作業となり、湯澤翔平、柴田優作の順で走行した。まずは先陣を切って湯澤翔平が1分41秒001をマークし、セッション中盤には柴田優作も42秒台のタイムをマークした。このセッションは湯澤のマークしたタイムがベストタイムとなり、GT300クラス18位となった。

8月9日(日曜日)決勝レース

気温38度、路面温度48度と厳しい猛暑の中、スタートドライバーは柴田優作が務め、観客36,400人が見守る中、パレードランとフォーメーションラップを経て15時07分にシリーズ第4戦がスタートした。

大きな混乱に巻き込まれることなくスタートを決めた柴田優作はDIJON Racing48号車に次ぐ21位にジャンプアップ。その後は安定したラップで順位を徐々に上げていった柴田優作は、レース中盤には5位まで浮上する。

予定通り36周目にピットインして湯澤翔平へドライバーチェンジ。その際、タイヤ交換、給油作業を行い、最小のロスタイムでコースへ復帰する。しかし、無常にもセクター3区間でスローダウンするDIJON Racing47号車がモニターに映りだされる。

まもなく無線でステアリング系のトラブル発生！！との連絡がチームに入った。チームは緊急ピットインを指示し、湯澤翔平は落ち着いてマシンをピットまでたどり着かせる。DIJON Racing47号車はそのままガレージに入れられてマシンの修復作業に取り掛かる。

DIJON
Racing

MITSUNAGA
GROUP

iNiOki

Cure★
Album Planet
ENDLESS

NILZZ
Racing Factory

POWER STATION

PINS
FACTORY

RAVS

KTEL

IBRIDA CELL

YOKOHAMA

中津からあげ
将軍家もり山

ENOMOTO
ARCHITECTS

TRUST

CKK

NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

H Dental office

OKUSU
VACATION RENTALS

ReBORN
経堂
KICKBOXING & FITNESS

アルティミ
トラベル メイク

brahman co.,ltd

MURAKAMI
MENTAL CLINIC

海八生電設工業



何とかマシンは修復されて再びコースへ復帰するが、今度はオフィシャルよりドライビングスルーペナルティが通告される。先ほどのピットインの際にピットレーン入口での速度超過があったため、湯澤翔平はすぐさまドライブスルーペナルティを消化すること。

レース終盤、コース上は他車のアクシデントによるカーボンパーツやタイヤカスで非常に荒れた状態となるが、DIJON Racing47 号車は順調に周回を重ね、順位をあげていく。決勝レースがスタートしてから 1 時間 44 分が経過、DIJON Racing47 号車は 57 周を周回して、GT300 クラス 19 位で今季初のチェッカーフラッグを受けた。

皆様のご支援、ご声援を賜りましたことで、DIJON Racing47 号車は今季初参戦、初完走を果たすことができました。引き続き、皆様の暖かい御声援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

DIJON
Racing

MITSUNAGA
GROUP

inioiki

Cure★
Album Planet
ENDLESS

NILZZ
Racing Factory

POWER STATION

PINS
FACTORY

RAVS

KTEL

IBRIDA CELL

YOKOHAMA

中津からあげ
将軍家もり山

ENOMOCO
ARCHITECTS

TRUST

CKK

NISSAN nismo
NISSAN GT-R NISMO GT3
Customer Racing

H Dental office

OKUSU
VACATION RENTALS

ReBORN
経堂
KICKBOXING & FITNESS

アルティミ
トラベル メイク

bralman co.,ltd

MURAKAMI
MENTAL CLINIC

海八生電設工業